

1 家庭での環境学習等に役立つ情報の収集・発信・・・本編P17

- ・地域の特性を活かした体験活動や世代に応じた環境学習、世代間をつなぐ環境学習等の場や機会についての情報収集・発信
- ・家庭での環境学習に役立つ環境学習の場や機会の情報収集・発信
- ・日々の生活での環境に配慮した取組事例や、安全・安心な生活に必要な知識・情報の発信
- ・地域の抱える環境問題と、その解決のために各家庭でできること、さらに各家庭での取組の結果、県全体でどんな効果が期待できるかといった情報の発信

20事業

番号	担当		事業	開始年度	H30事業実績	H31事業予定	H31事業内容	五つの力					関連するSDGs番号
	局	課室						体感	理解	探究	活用	共働	
1	環境局	環境政策課	環境調査センターにおける環境学習の場の整備	H30	環境調査センター展示物実施設計を作成	環境調査センター展示物等の製作、環境学習プログラムの作成	環境調査センターにおいて、令和2年度からの全面供用開始に向けて、環境分析の現場や新エネ・省エネ設備の見学と環境学習を一体的に実施する場を1階スペースに整備する。	○	○	○	◎		4 7 11 12 13 14 15 17
2	環境局	環境活動推進課	あいち環境学習プラザにおける展示等	H19	プラザ来館者数:12,198名	継続実施	あいち環境学習プラザの展示コーナーにおいて様々な環境に関する各種資料を展示するとともに、交流コーナーにおいて環境書籍等の閲覧・貸出を行い、情報提供をする。	○	◎				4 6 7 11 12 13 14 15 17
3	環境局	環境活動推進課	あいちエコアクションウェブサイトの運営	H26	サイトアクセス件数:24,746件 日記投稿件数:106通	継続実施	県民一人一人の環境への負荷を減らすエコアクション(環境配慮行動)を促進するため、あいちエコアクションポータルサイト「エコリンクあいち」による普及啓発を行う。		◎		○		4 6 7 11 12 13 14 15
4	環境局	環境活動推進課	エコアクション推進フェアの開催	H26	開催日:H30.11.17(土)・18(日) 場所:アスナル金山 参加者数:15,010名	開催日(予定):11月23日(土)、24日(日)	県民一人一人の環境への負荷を減らすエコアクション(環境配慮行動)を促進するため、エコアクション推進フェアを開催する。		◎				4 6 7 11 12 13 14 15
5	環境局	環境活動推進課	環境情報システム	H17	—	継続実施	県が実施した環境調査事業等のデータを収集・整理してインターネットにより発信する。		◎	○			3 4 13 14 15
6	環境局	環境活動推進課	東海三県一市グリーン購入キャンペーン	H14	店舗イベント開催回数:1回	店舗イベント開催回数:1回	岐阜県、三重県、名古屋市、事業者と協働して、詰め替え商品、環境ラベル商品、地産地消・季節消等の環境配慮型商品の啓発キャンペーンを実施し、グリーン購入の普及と定着を図る。		○	○	◎		9 12 13 14 15 17
7	環境局	環境活動推進課	化学物質セミナー	H14	・事業者向けセミナー 開催日:10月22日(月)、来場者数:460名 ・県民向けセミナー 開催日:10月16日(火)、来場者数:129名	・事業者向けセミナー 開催日(予定):12月2日(月) ・県民向けセミナー 開催日未定	化学物質の適正な管理を一層推進するための事業者向けセミナーや、化学物質による暮らしや健康への影響などについて理解を深めるための県民向けセミナーを開催する。		◎		○		4 9 14 15
8	環境局	地球温暖化対策課	家庭からのCO2排出量「見える化」事業	H31	—	県民向けの動画を作成し、イベント等で活用	「あいち地球温暖化防止戦略2030」の目標達成に向け、県民一人一人が、家庭から排出されるCO2排出量を行動ごとに把握し、具体的にどのような取組を行うことが必要かをわかりやすく説明し、実際の行動につなげていくための映像コンテンツを作成する。			◎			3 4 6 7 11 12 13 14 15
9	環境局	水大気環境課生活環境地盤対策室	三河湾大感謝祭	H26	開催日:10月28日 場所:蒲郡市民会館 参加者数:約6,000名	開催日(予定):10月 場所(予定):大浜漁港	三河湾の環境再生に向けた取組の機運を高める「三河湾環境再生プロジェクト」のさらなる推進に向け、多くの人々に三河湾にもっと関心をもってもらうことを目的に「三河湾大感謝祭」を開催する。	◎	○				6 14 15 17
10	環境局	水大気環境課生活環境地盤対策室	油ヶ淵電子図書館	H17	県や市民グループ等による油ヶ淵流域水環境モニタリングの調査結果等を公開し、水質改善に向けた取組を発信した。	継続実施	県や市民グループ等による油ヶ淵流域水環境モニタリングの調査結果等を公開し、水質改善に向けた取組を発信する。		◎	○		○	6 14 15 17
11	環境局	自然環境課	生物多様性セミナー	H23	【新城設楽振興事務所】:8/8(水)開催 35名参加 【尾張県民事務所】:8/10(金)開催 40名参加 【海部県民センター】:8/5(日)開催 44名参加 8/23(土)開催 29名参加 【合計】148名参加	セミナーの開催:3地域で1回ずつ計3回	県民の身近な自然に対する関心を喚起し、具体的な行動へと誘導していくため、また、生物多様性保全に関する地域に根ざした普及啓発を行うため、尾張県民事務所、海部県民センター、西三河県民事務所(計3箇所)ごとに、その地域ならではの自然環境を活用した体験型セミナーをNPO等との協働のもとで開催する。	◎	○				4 14 15 17
12	環境局	資源循環推進課	ゴミキチ・パコロ劇場	H17	インターネットを使ってゲームで遊びながら、資源循環について学ぶホームページ。 【資源循環情報システムのアクセス数2,560件/月】	【資源循環情報システムのアクセス数2,200件/月】	インターネットを使ってゲームで遊びながら、資源循環について学ぶホームページ。		◎	○			4 7 9 11 12 13
13	環境局	資源循環推進課	ごみゼロ社会推進あいち県民会議	H5	ごみゼロ社会推進あいち県民会議:事業者団体、消費者団体、女性団体、県内市町村等111団体(平成31年3月現在)で構成 ○啓発事業 ごみゼロ社会推進あいち県民大会等の開催 開催日:11月19日 場所:アンフォーレ(安城市内) 参加者189名 レジ袋削減取組店制度の運用	12月開催予定(今年度は海岸漂着物の啓発イベントと同時開催予定)	県民、事業者、行政が一体となってごみゼロ社会の形成を推進することにより、公衆衛生、環境の保全、資源の有効利用を促進することを目的に設立された「ごみゼロ社会推進あいち県民会議」が主体となり、普及啓発、情報収集・提供や調査・研究を行う。(ごみゼロ社会推進あいち県民会議:事業者団体、消費者団体、女性団体、県内市町村等で構成) ○啓発事業 ごみゼロ社会推進あいち県民大会等の開催、レジ袋削減取組店制度の運用		◎	○			12 17
14	環境局	資源循環推進課	海岸漂着物等に関する環境学習	H30	啓発動画「知ってる?あいちのうみのコト〜カッパの清吉と学ぶ『海ごみ』問題」の作成。イベントへのブース出展(三河湾大感謝祭、エコアクション推進フェア)。	啓発イベントの開催(ごみゼロ社会推進あいち県民大会同時開催) 啓発資材(パネル、パンフレット等)の作成 学校での海ごみに関するモデル授業の実施 イベントへのブース出展(三河湾大感謝祭、エコアクション推進フェア)	海岸漂着物等に係る啓発イベントの開催、啓発資材の作成等を行う。			◎			12 14
15	環境局	資源循環推進課	食品ロス削減推進事業	H30	食品ロスシンポジウムの開催(ごみゼロ社会推進あいち県民大会と同時開催) 啓発資材(パネル、リーフレット、三角柱POP)の作成	シンポジウムの開催 啓発資材(プログラム)の作成	食品ロス削減に係る啓発事業として、シンポジウムの開催等を行う。			○	○	◎	12
16	農業水産局	食育消費流通課	地産地消推進事業費	H17	・ネットワークの拡大 新規84会員 ・フェイスブックによる情報発信 102記事	・ネットワークの拡大 ・フェイスブックによる情報発信等	地産地消を推進する「いいともあいち運動」を展開し、消費者と生産者の「顔の見える関係」を構築するため、生産者団体、食品関連事業者、NPO、消費者団体及び食生活改善関係者等と幅広いネットワークを形成し、協働活動の推進、情報発信等を行う。	○	◎				14 15

番号	担当		事業	.開始年度	H30事業実績	H31事業予定	H31事業内容	五つの力					関連するSDGs番号
	局	課室						体感	理解	探究	活用	共働	
17	農林基盤局	農地計画課	あいちの農業用水展	H13	開催日:8月4日(土) 参加者数:約2,700名	開催日:8月3日(土) 参加者数:約500名	農家や先人の努力の積み重ねにより守り育まれてきた農業用水を中心に、水の重要性について広く県民の関心と理解を深めるため、農業用水の歴史や変遷等をパネル展示等により紹介する。H31年度は宮田用水、木津用水にスポットを当てた展示とし、「水の週間」に合わせて8月に開催する。	○	◎				15
18	都市整備局	交通対策課	あいちエコ モビリティ ライフ推進事業	H20	・県民の集い:11月9日(金) ・市町村等と連携した実践促進事業:5回 ・「エコモビの日」PR活動:3回	・県民の集い:1回 ・市町村等と連携した実践促進事業:5回 ・「エコモビの日」PR活動:3回	クルマ(自家用車)と公共交通、自転車、徒歩などをかきこく使い分けるライフスタイルである「エコ モビリティ ライフ」(エコモビ)の普及・定着を図るため、「県民の集い」の開催や県内各地において「エコモビ」の実践に関する普及啓発活動などを行う。		○		◎		11 13
19	都市整備局	交通対策課	高度道路交通システム推進費	H10	・大学セミナー:19回 ・あいちITS産・学・行政交流会:1回	・大学セミナー:19回 ・あいちITS産・学・行政交流会:1回	ITS(高度道路交通システム)を活用した安全、快適で環境にやさしい地域づくりを目指し、愛知県ITS推進協議会(事務局:愛知県交通対策課)を中心に、産・学・行政が連携してITSの普及・啓発活動や導入促進に向けた各種取組を行う。				◎	○	9 11 13
20	建設局	河川課	みずから守るプログラム	H23	【手づくりハザードマップ】8地区 【大雨行動訓練】11地区	継続実施	水害に直面した際に県民が適切な行動に移せるよう、県民目録の情報提供と、県民の自発的な行動を育む地域協働型の取組を推進する。		○		◎		11 13

2 体験等を通して気軽に楽しく学び合える機会と場の確保・・・本編P17

- ・県内環境学習施設等の連携の充実
- ・生活との関わりなどについて、体験等を通し、実感を伴って学べる機会の拡充
- ・世代間の学び合い・育ち合いに発展する環境学習等の充実

19事業

番号	担当		事業	.開始年度	H30事業実績	H31事業予定	H31事業内容	五つの力					関連するSDGs番号
	局	課室						体感	理解	探究	活用	共働	
21	環境局	環境活動推進課	あいち環境学習プラザにおける環境学習講座	H17	講座回数:37回 参加者数:786名	継続実施	水の汚れ、空気の汚れ、酸性雨、地球温暖化、ごみなどについて実験を交えた環境学習講座を実施する。		◎	○			4 6 7 11 12 13 14 15 17
22	環境局	環境活動推進課	AELネットを活用したエコアクションの推進	H26	期間:H30.6～H31.2 応募総数:6102名 参加者数:67,886名	期間:H31.6～H32.2	県民一人一人の環境への負荷を減らすエコアクション(環境配慮行動)を促進するため、AELネット環境学習スタンプラリーの開催をする。		◎				4 6 7 11 12 13 14 15 17
23	環境局	地球温暖化対策課	ブース出展事業費	H20	出展回数 16市町24回	継続実施	市町村のイベント等に出展しパネルや体験型実験装置などを用いてエコライフの実践に関する普及啓発を行う。		◎	○	○		3 4 6 7 11 12 13 14 15
24	環境局	地球温暖化対策課	次世代自動車普及促進事業	H21	イベント出展4回	継続実施	低炭素社会づくりの推進のため、自動車から排出されるCO2の削減効果が高いEV(電気自動車)やPHV(プラグインハイブリッド自動車)の展示・試乗会等を開催し、普及啓発を行う。	○	◎			○	4 7 9 11 12 13
25	環境局	地球温暖化対策課	低公害公用車導入費(一部)	H17	イベント出展16回	継続実施	燃料電池自動車(FCV)への理解を深めていただくため、県内各地の環境学習などのイベント等でFCVの特徴を紹介するとともに、展示等を行う。	○	◎				4 7 9 11 12 13
26	環境局	水大気環境課	流域モニタリング一斉調査	H21	河川やため池など身近な水環境に興味を持ってもらうため、水質・水量・生態系・水辺といった水循環に関する項目からなる「水循環再生指標」を活用し、調査を実施した。	6月5日(環境の日)から9月末まで実施	河川やため池など身近な水環境に興味を持ってもらうため、水質・水量・生態系・水辺といった水循環に関する項目からなる「水循環再生指標」を活用し、調査を実施する。	○	◎	○		○	6 14 15
27	環境局	水大気環境課	水循環再生地域協議会の開催	H18	水環境の総合的な改善に向け、県民・事業者・民間団体・行政が連携・協働して健全な水循環を再生するため、尾張、西三河、東三河の各地域において水循環再生地域協議会を設置し、水循環再生行動計画の策定・推進、取組事例の報告、及び情報交換等を行う。また、各協議会にフォローアップチームを設け、行動計画の進捗状況の点検・把握などを行った。	継続実施	水環境の総合的な改善に向け、県民・事業者・民間団体・行政が連携・協働して健全な水循環を再生するため、尾張、西三河、東三河の各地域において水循環再生地域協議会を設置し、水循環再生行動計画の策定・推進、取組事例の報告、及び情報交換等を行う。また、各協議会にフォローアップチームを設け、行動計画の進捗状況の点検・把握などを行う。				◎	○	6 14 15
28	環境局	水大気環境課生活環境地盤対策室	三河湾環境再生体験会	H28	干潟の生きもの観察や干潟の保全体験により、干潟の役割や大切さを知り、三河湾の里海再生への関心を高めた。	継続実施	干潟の生きもの観察や干潟の保全体験により、干潟の役割や大切さを知り、三河湾の里海再生への関心を高める。	◎	○				6 14 15
29	環境局	水大気環境課生活環境地盤対策室	油ヶ淵水環境モニタリング	H17	油ヶ淵及び流域河川において一般公募した市民グループ等により、透視度やCODバックテストによるCOD濃度などの調査を行い、生活排水等による水の汚れを把握した。	継続実施	油ヶ淵及び流域河川において一般公募した市民グループ等により、透視度やCODバックテストによるCOD濃度などの調査を行うことで、生活排水等による水の汚れを把握する。	○	◎				6 15 17
30	環境局	水大気環境課生活環境地盤対策室	水質パトロール隊事業	H10	小中学生を対象に水質や生きもの調査の様子や調査結果をレポートで提出してもらった。H30年度は42グループ、704名の参加があった。提出されたレポートを審査し、特に優れたグループを表彰した。	継続実施	県内の小中学生を対象に、簡易水質測定試薬や調査マニュアルを送付し、身近な水辺の水質や生活排水との関わり、生きものを調査した上で、活動の様子や調査結果をレポートにまとめて提出してもらい、提出されたレポートを県で審査し、特に優れた活動を行ったグループを表彰する。	○	◎	○		○	6 14 15
31	環境局	水大気環境課生活環境地盤対策室	サポーター向け講座	H31	—	継続実施	三河湾環境再生パートナーシップ・クラブのサポーターの三河湾への関心・理解をより高め、サポーターの三河湾の環境保全活動への参加を促すため、「サポーター向け講座」を開催する。		◎			○	6 14 15 17
32	環境局	自然環境課	自然公園魅力発信強化事業	H30	「いらごさらパーク 自然観察サポーター」による自然観察ガイドの実施:年間52回 普及啓発資材(エコバック等)の作成	「いらごさらパーク 自然観察サポーター」による自然観察ガイドの実施:年間52回(予定) 普及啓発資材の作成	「いらごさらパーク 自然観察サポーター」による自然観察ガイドの実施や、普及啓発資材の作成を通して、自然環境に関する知識や自然保護思想の普及啓発を行う。	◎					15
33	福祉局	子育て支援課(指定管理者)	自然観察会等の実施	—	参加者数:2,818名※10月・11月の工作参加者数	継続実施	愛知こどもの国の指定管理者が、園内の樹木等を利用した工作の体験会を実施する。	◎				○	3

番号	担当		事業	.開始年度	H30事業実績	H31事業予定	H31事業内容	五つの力					関連するSDGs番号
	局	課室						体感	理解	探究	活用	共働	
34	農業水産局	水産課	あいち海の恵み普及啓発事業	H24	1イベントでの広報回数 6回 SNS・Webページによる情報発信 35回更新 2 出前授業 16箇所 763名	継続実施	1 あいちの四季の魚啓発事業 あいちの四季の魚を啓発するため、イベント等で広報活動を実施する。 2 魚食の伝道師派遣事業 若い世代にあいちの水産物への関心を持たせるため、小学生等を対象として、漁業者や県職員による、あいちの水産物および水産業の出前授業を行い、海の恵みと海の大切さを知ってもらう。	○	◎				14
35	農林基盤局	林務課(指定管理者)	自然観察会の実施	H17	—	継続実施	愛知県森林公園及び愛知県民の森の指定管理者が、「自然ウォッチング」「野の花めぐり」などを実施する。	◎					3 4 15
36	農林基盤局	森林保全課	あいち海上の森保全活用事業	H18	森林整備等活動:実施回数35回 参加者数688名 参加体験学習:実施回数13回 参加者数170名	森林整備等活動:実施回数未定 参加体験学習:実施回数12回	海上の森を将来にわたり保全・活用するために、NPO、企業、学校等と協働・連携して森林整備活動や森林や里山に関する参加体験学習等を実施する。	○				◎	15
37	農林基盤局	森林保全課 森と緑づくり推進室	森と緑づくり体感ツアーの実施 【あいち森と緑づくり事業】	H20	バスツアー:2コース開催	バスツアー:2コース開催	主に都市部の県民を対象に、間伐体験等を通じて、森や緑の大切さや役割などを理解するためのバスツアーを実施する。	○	◎				15
38	都市整備局	公園緑地課(指定管理者)	自然観察会の実施	H17	県営都市公園の指定管理者等が自然観察会を実施した。	継続実施	県営都市公園の指定管理者等が自然観察会を実施する。	◎					11 15
39	都市整備局	公園緑地課	油ヶ淵水辺公園整備事業	H19	油ヶ淵の自然環境を再生し、身近な生き物との触れ合いの場となる自然ふれあい生態園の整備を引き続き実施した。	継続実施	油ヶ淵の自然環境を再生し、身近な生き物との触れ合いの場となる自然ふれあい生態園の整備を引き続き実施する。	◎	○				11 15

3 学校における環境教育の促進（教育）・・・・・・本編P22

- ・発達段階に応じた環境教育の実施
- ・環境教育に必要な人材や場、教材とのマッチングの仕組みの提供
- ・県内環境学習施設等のネットワークを活かした、環境教育の機会の拡充と質の向上
- ・効果的な環境教育を実施するための教員研修の実施
- ・環境教育の参考となる、地域資源の活用事例や、学び合い・育ち合いに発展した事例についての情報提供
- ・環境教育に活用できるデータや情報の、学校が使いやすい形での発信（環境に関するデータ、発達段階に応じた体験的学習の場や教材、専門的な人材、財政的支援に関する情報など）
- ・表彰・コンクール等による、優れた環境教育の取組への支援

10事業

番号	担当		事業	.開始年度	H30事業実績	H31事業予定	H31事業内容	五つの力					関連するSDGs番号
	局	課室						体感	理解	探究	活用	共働	
40	教育委員会事務局	教育企画課	あいちの学校連携ネット	H23	情報更新依頼先 高専 1 四大 50 短大 19 市町村教委 53	H30事業実施に同じ	大学と県教育委員が連携することにより、高校生に大学の教育に触れる機会を提供したり、大学生が小・中学校の学校現場で子どもたちの学びを支援したりする取組を推進するためのマッチングサイトを運営する。				○	◎	4
41	教育委員会事務局	生涯学習課	愛知県青年講座	S49	青年講座の実施 受講者11名、修了者10名	青年講座の実施 受講者20名	持続可能な社会づくりが求められる現代において、子供たちの「社会を生き抜く力（コミュニケーション能力、自立心、主体性、協調性、チャレンジ精神、責任感、想像力、変化に対応する力、異なる他者と協働する能力等）」を育む体験活動の指導者を育成する講座を実施し、青少年団体・NPO等、地域社会の担い手として活躍する青年リーダーを育成するとともに、実践者同士のネットワークづくりを目指す。	◎			○		4 11 15 17
42	教育委員会事務局	生涯学習課	ユネスコスクール活性化事業	H27	ユネスコスクール交流会の実施 分科会等参加者:170名	ユネスコスクール交流会の実施 分科会等参加者:200名	ユネスコスクールの活動を継続的に支援し、ESDの活動拠点としてのユネスコスクールの発展に寄するため、関係機関から講師等の派遣及び研修会への教員派遣を行う。また、県内のユネスコスクール活動の充実と、各校の連携促進、ネットワークの構築を図りユネスコスクールの全県的な広がりを目指した交流会を実施する。				○	◎	4 7 10 11 12 14 15 16 17
43	教育委員会事務局	高等学校教育課	あいちSTEM教育推進事業	H29	H29年度に指定されたあいちSTEMハイスクール研究指定校5校及びあいちSTEM教育力強化研究指定校4校による研究。 あいちSTEM能力育成事業(知の探究講座:63校から137名参加、技の探究講座、科学技術教育推進協議会、あいち科学の甲子園)の実施。 あいちSTEM教育魅力発信事業(STEM教育出前講座、航空宇宙STEM教育講座、先端技術STEM講座)の実施。	H29年度に指定されたあいちSTEMハイスクール研究指定校5校及びあいちSTEM教育力強化研究指定校4校による研究。 あいちSTEM能力育成事業(知の探究講座:135名募集、技の探究講座、科学技術教育推進協議会、あいち科学の甲子園)の実施。 あいちSTEM教育魅力発信事業(STEM教育出前講座、航空宇宙STEM教育講座、先端技術STEM講座)の実施。	自然科学や情報技術等の特定分野に関心が高く、より深く学ぼうとする意欲のある生徒に対し、連携大学による先進的なSTEM教育を実施することにより、愛知の科学の発展を担う理工工学系人材を育成する。			○	◎	○	4 7 9 12 15
44	教育委員会事務局	高等学校教育課	県立高等学校教育推進実施計画	H28	理科において、一人一人が体験的な学びができるよう環境整備を図るとともに、科学的リテラシーを身に付けられるよう授業改善を図った。	理科において、一人一人が体験的な学びができるよう環境整備を図るとともに、科学的リテラシーを身に付けられるよう授業改善を図る。	理科において、一人一人が体験的な学びができるよう環境整備を図るとともに、科学的リテラシーを身に付けられるよう授業改善を図る。			○	◎		4 7 13 14 15 17
45	教育委員会事務局	高等学校教育課 特別支援教育課	共に生きる心豊かな人材育成事業(道徳教育推進事業)	H29	県立高等学校8校、県立特別支援学校2校を 実践指定校に指定した。	県立高等学校8校、県立特別支援学校2校を 実践指定校に指定する。	実体験の乏しい現代の児童生徒に、いじめや集団生活におけるトラブルを自ら回避・解決する力を身に付けさせるために、道徳教育の実践やさまざまな体験活動、交流活動、地域貢献活動を行い、人間関係をつくる力やコミュニケーション能力を養うとともに、多様な人々の存在を尊重しながら自らを高め、社会に役立つことのできる人材を育成する。	○			○	◎	14 15
46	教育委員会事務局	高等学校教育課 義務教育課 特別支援教育課	公立学校初任者研修	H17	社会奉仕体験活動研修や宿泊研修等において、環境保護活動や自然体験活動、野外教育活動等を実施した。	社会奉仕体験活動研修や宿泊研修等において、環境保護活動や自然体験活動、野外教育活動等を実施する。	社会奉仕体験活動研修や宿泊研修等において、環境保護活動や自然体験活動、野外教育活動等を実施する。	◎	○			○	4 17

番号	担当		事業	開始年度	H30事業実績	H31事業予定	H31事業内容	五つの力					関連するSDGs番号
	局	課室						体感	理解	探究	活用	共働	
47	教育委員会事務局	義務教育課	社会に開かれた教育課程推進事業	H30	推進校(小2校、中2校)において、社会に開かれた教育課程に向けての取組を計画・実践した。	推進校(小2校、中2校)において、社会に開かれた教育課程に向けての取組を計画・実践する。	【事業】社会に開かれた教育課程推進事業 地域の人・文化・環境と関わり、地域と共に学ぶ場を設定することにより、子供たちの豊かな心を育み、学校と社会(地域)の一層の活性化を目指した創意工夫のある教育活動を計画・実践するとともに、学校で学んだことが社会(地域)やこれからの時代にどのような役に立つのかを理解できる教育課程を推進する。				○	◎	4
48	教育委員会事務局	保健体育課	学校食育推進者養成講座	H17	—	継続実施	学校における食育推進の中核となる指導者を養成する。	○	◎				3
49	教育委員会事務局	総務課 総合教育センター	県総合教育センター研修事業(海洋環境学習講座の実施)	H17、H20 ～	海洋環境学習講座の実施 実施日:7月27日(金) 参加者:8名(小7名、特1名)	実施日:7月31日(水) 参加者:18名	県総合教育センターの専門研修において、「海洋環境学習講座」(幼・小・中・高・特の教員対象)を実施する。	○	◎				14

4 学校における環境教育の促進(県)・・・本編P22

- ・自然とふれあう学習の促進
- ・低炭素社会、水、資源循環、エネルギーや廃棄物、買物や食に関する学習の促進
- ・多様な主体との連携・協働の促進
- ・学習施設等のネットワークの活用など

15事業

番号	担当		事業	開始年度	H30事業実績	H31事業予定	H31事業内容	五つの力					関連するSDGs番号
	局	課室						体感	理解	探究	活用	共働	
50	環境局	環境政策課	持続可能な未来のあいちの担い手育成事業	H27	大学生の養成:40名 支援会議の開催:2回 成果の発信:2回 地域環境活動の実践:2回	大学生の養成:40名 支援会議の開催:2回 成果の発信:2回程度 地域環境活動の実践:1回	大学生を対象とした、環境面における人材育成プログラム「かがやけ☆あいちサスティナ研究所」により、パートナー企業と連携して「環境リーダー」を養成するとともに、成果発表会を開催し、学生間・大学間のネットワーク化を図る。また、企業、大学、NPOなど多様な主体が参画する支援会議を開催し、環境面における人づくりを推進する。		○	○	◎	○	4 9 11 17
51	環境局	環境活動推進課	もりの体験教室の実施	H19	ツアー参加者:5,363名 あそび工房参加者:3,643名 その他行事: 8,146名	継続実施	愛・地球博記念公園の「もりの学舎」でインタープリターによる自然体験学習プログラム「もりの体験教室」を実施する。						4 15
			もりの学舎キッズクラブ等の運営	H20	Aコース56名、Bコース54名 参加延べ人数540名、各コース9回実施	継続実施	もりの学舎において、小学生に自然の不思議さや大切さを学んでもらうため、自然体験・環境活動を実施する。	◎	○				
			インタープリタースキルアップ研修	H20	もりの学舎のインタープリターのスキルアップを図る。	研修回数:4回	もりの学舎のインタープリターのスキルアップを図る。						
52	環境局	環境活動推進課	インタープリター自然体感推進事業	H28	「もりの学舎ようちえん」の実施 期間:H30.5～H31.3、回数:6回開催 組数:30組、延べ参加組数:138組	回数:各コース6回 組数:30組	未就学児童とその保護者を対象に、森の中での自然体感プログラムを四季を通じて実施する。						4 15
					「一日もりの学舎ようちえん」の実施 園数:11園	園数:10園	保育園・幼稚園等の園児を「もりの学舎」に招き、様々な感覚を使った自然体感プログラムを実施する。	◎	○				
					「森の伝道師派遣」の実施 園数:16園	園数:15園	保育園・幼稚園等の活動場所にインタープリターを派遣し、自然体感プログラムを実施する。						
					「子ども自然体感活動指導者養成研修」の実施 各コース4回開催 延べ参加人数 108名 参加者 尾張地域:29名、三河地域:25名	各コース4回開催 定員数 尾張地域:30名、三河地域:30名	幼稚園教諭、保育士等を対象に、未就学児童に対する自然体験活動が効果的であることを伝え、自ら自然体感プログラムが実施できる人材を育成する研修を実施する。						
53	環境局	環境活動推進課	環境学習副読本の作成・配布	H17	「わたしたちと環境」56,500部作成・配付	56,000部作成・配付	県内の小学校新4年生(名古屋市を除く)を対象に、環境学習副読本を作成、配付する。		◎	○		4 6 13 14 15	
54	環境局	環境活動推進課	高校生環境学習推進事業	H29	参加校:3校(参加生徒数:30名) 作成した教材を、11月に開催された環境イベント「Let's エコアクション in AICHI」で発表。 作成した教材の事例集の発行(H31.3発行) 「高校生が伝えたいあいちの環境『あいちの未来クリエイティブ部』」	参加校:3校	高校生が大学やNPO等と連携して、環境問題に関する調査・研究を行い、その結果を基に環境学習教材等を作成するとともに、その教材等を活用・普及する。			○	◎	4 6 13 14 15	
55	環境局	地球温暖化対策課	県民向け「ストップ温暖化教室」開催事業	H19	開催回数:5回	開催回数:10回	市町村及び地球温暖化防止活動推進員と連携し、地球温暖化防止、エコライフの実施及び普及に向け、県民を対象とした教室を開催する。		◎		○	3 4 6 7 11 12 13 14 15	
56	環境局	地球温暖化対策課	小学生向け「ストップ温暖化教室」開催事業	H19	開催回数:小学校高学年向け28回 小学校中学年向け73回	開催回数:小学校高学年向け130回 小学校中学年向け130回	市町村及び地球温暖化防止活動推進員と連携し、地球温暖化防止、エコライフの実施及び普及に向け、小学生を対象とした教室を開催する。		◎	○	○	3 4 6 7 11 12 13 14 15	
57	環境局	水大気環境課生活環境地盤対策室	三河湾環境学習会	H27	「三河湾環境学習会」の開催を予定していたが、天候により中止となった。	継続実施	県立三谷水産高校実習船「愛知丸」に乗船し、三河湾の水質や底質を実際に調査することで、三河湾の現状や環境を学び三河湾の里海再生への関心を高める。	○	◎			6 14 15	
58	環境局	自然環境課	野生生物保護実績発表大会	S46	8月2日(木)実施 愛知県内の小・中・高から8校の発表団体 参加人数はのべ181名 刈谷市産業振興センター(小ホール)にて開催、身近な環境保全の活動や研究の取組を発表	8月1日(木)実施 愛知県内の小・中・高から8校が発表します。 参加人数は180名を予定 刈谷市産業振興センター(小ホール)	小学校、中学校、高等学校、その他の団体が行った野生生物の保護活動を発表し、競い合う。		◎		○	○	14 15 17
59	環境局	自然環境課	愛鳥週間用ポスターの原画の募集	S46	県内参加校数:719校 県内応募総数:30,966点	継続実施	公益財団法人日本鳥類保護連盟が主催する「愛鳥週間用ポスター原画コンクール」に応募する作品を県内の児童及び生徒から募集する。	○	◎				14 15 17

番号	担当		事業	開始年度	H30事業実績	H31事業予定	H31事業内容	五つの力					関連するSDGs番号
	局	課室						体感	理解	探究	活用	共働	
60	経済産業局	産業科学技術課	新エネルギー実証研究エリア管理運営事業(次世代エネルギーパーク運営・推進費)	H21	新エネルギー教室5回 のべ210名参加	新エネルギー教室5回	新エネルギー実証研究エリアで、小中学生をはじめとした多くの県民に新エネルギーについて理解を深めるため、「新エネルギー教室」を開催する。	○	◎				7 9 11
61	農業水産局	水産課	少年少女水産教室	—	知識の習得や漁業体験:19名	継続実施	中学生を対象に海に関する知識の学習や地引網漁業の体験を行う少年少女水産教室を実施する。	◎	○				14
62	建設局	下水道課	メタウォーター下水道科学館あいちの運営	H12	来館者数:95,240人	継続実施	メタウォーター下水道科学館あいちにおいては、下水道の役割や機能を説明するだけでなく水循環や水環境など学習の場を提供する。来館者に対して下水道の役割・機能のほか、水環境・水循環を含めた環境について考えるためのイベントを開催する。		◎	○			6 7 11 14
63	建設局	下水道課	下水処理場見学の見学	H17	見学者数:6,723人	継続実施	小学生など下水処理場等の見学希望者に対し、随時見学を受け入れる。		◎	○			6 11 14
64	建設局	河川課	「子どもの水辺」再発見プロジェクト	H17	県及びNPO等が水辺協議会を設置して、子供たちの河川の利用を促進し、地域における子供たちの河川での自然観察活動、愛護活動を推進した。	継続実施	県及びNPO等が水辺協議会を設置して、子供たちの河川の利用を促進し、地域における子供たちの河川での自然観察活動、愛護活動を推進する。	◎	○				4

5 事業者における社内外に向けた環境学習等の促進・・・P28

- ・環境学習等を行う事業者への支援(情報収集・提供など)
- ・表彰や社会・環境への配慮の観点からの優遇措置等を通じた、優れた技術開発や活動等の支援
- ・環境マネジメントシステム等に関する情報提供と運用の支援
- ・主体間をつなぐ仕組みや促進策(コーディネート制度など)の提供
- ・優れた取組事例の共有の促進

2事業

番号	担当		事業	開始年度	H30事業実績	H31事業予定	H31事業内容	五つの力					関連するSDGs番号
	局	課室						体感	理解	探究	活用	共働	
65	農業水産局	水産課	水産多面的機能発揮対策事業	H28	教育学習会実施回数22回、受講者数1,061名	継続実施	水産物の提供、環境の保全、交流の場の提供など、水産多面的機能を発揮するための漁場保全活動及びその理解につながる教育学習会の開催など、漁業者等が行う取組を支援する。	○	◎			○	14
66	農林基盤局	林務課	林業普及指導事業	H17	—	継続実施	森林づくりグループ等の要望を受けて、林業普及指導員が必要な技術指導を実施する。				◎	○	13 15

6 NPO等のポテンシャルを活かした環境学習等の促進・・・P29

- ・環境学習等を行うNPO等への支援(情報収集・提供、研修、表彰制度など)
- ・主体間をつなぐ仕組みや促進策(コーディネート制度など)の提供
- ・優れた取組事例の共有の促進

3事業

番号	担当		事業	開始年度	H30事業実績	H31事業予定	H31事業内容	五つの力					関連するSDGs番号
	局	課室						体感	理解	探究	活用	共働	
67	県民文化局	社会活動推進課	あいち協働ルールブック2004に基づく「NPOと行政の協働に関する実務者会議」の開催	H16	NPOと行政の協働に関する実務者会議の開催 3回	NPOと行政の協働に関する実務者会議の開催 3回予定	「あいち協働ルールブック2004」を全国に先駆けて発行し、全庁的なNPOとの協働促進を図っている。それに基づきNPOと行政の継続的な協議・検討を行う「NPOと行政の協働に関する実務者会議」を開催する。				○	◎	17
68	県民文化局	社会活動推進課	NPOと行政のテーマ別意見交換会の開催	H16	NPOとのテーマ別意見交換会の開催 2回)	NPOとのテーマ別意見交換会の開催 2回予定	よりよい協働促進と地域課題の解決に向けて、テーマ別にNPOと行政、双方の実務者が、意見交換を通じて課題意識の共有を図るとともに、課題解決のための役割分担や協力のあり方を探ることを目的として、意見交換会を開催する。			○		◎	17
69	農業水産局	食育消費流通課	地域の魅力再発見食育推進事業費補助金	H29	・事業実施主体:5団体 ・補助率:1/2以内	・事業実施主体:6団体 ・補助率:1/2以内	地域の関係者が連携して取り組む地域食文化の継承や農業体験実施などの活動に対して助成を行う。	◎	○				14 15

7 地域コミュニティのネットワークを活かした環境学習等の促進・・・P31

- ・環境学習等を行う地域コミュニティへの支援(情報収集・提供、研修、表彰制度など)
- ・主体間をつなぐ仕組みや促進策(コーディネート制度など)の提供
- ・優れた取組事例の共有の促進

2事業

番号	担当		事業	開始年度	H30事業実績	H31事業予定	H31事業内容	五つの力					関連するSDGs番号
	局	課室						体感	理解	探究	活用	共働	
70	環境局	環境活動推進課	子どもエコクラブ支援	H17	壁新聞応募数:1件 絵日記応募数:18件	継続実施	県内の子どもエコクラブから応募される壁新聞・絵日記の選定を行う。また、環境イベント等の情報を県内の子どもエコクラブへ提供する。			◎	○		4 6 13 14 15
71	建設局	河川課	水辺の緑の回廊整備事業	H9	地域の環境にふさわしい樹種を川沿いに植樹し、河畔林およびその周辺の自然環境の回復を、地域住民の手による植樹で実施した。	継続実施	地域の環境にふさわしい樹種を川沿いに植樹し、河畔林およびその周辺の自然環境の回復を、地域住民の手による植樹で実施する。	○				◎	11

8 地域の特性を活かした環境学習等を実施できる環境づくり・・・P31

・環境課題やその解決のためにできることについての情報発信

・身近にある場や機会を活かした環境学習等の促進

7事業

番号	担当		事業	開始年度	H30事業実績	H31事業予定	H31事業内容	五つの力					関連するSDGs番号	
	局	課室						体感	理解	探究	活用	共働		
72	政策企画局	企画課	伊勢湾総合対策協議会	S45	伊勢湾および周辺地域の総合的な発展と保全を図ることを目的に、岐阜県・愛知県・三重県・名古屋市が連携協力し、広域的な調査研究や啓発活動を行った。(個別の事業は各部署が担当)。 (主な活動内容) ○政策提言活動、NPOの取組支援 ○海岸漂着物対策検討会の開催 ○環境問題研究会の開催	継続実施	伊勢湾および周辺地域の総合的な発展と保全を図ることを目的に、岐阜県・愛知県・三重県・名古屋市が連携協力し、広域的な調査研究や啓発活動を行う(個別の事業は各部署が担当)。 (主な活動内容) ○政策提言活動、NPOの取組支援 ○海岸漂着物対策検討会の開催 ○環境問題研究会の開催		◎	○				14
73	環境局	自然環境課	探鳥会・観察指導	H17	弥富野鳥園内の野鳥保護地から自然のままの野鳥の姿、鳴声などを観察した。	継続実施	弥富野鳥園内の野鳥保護地から自然のままの野鳥の姿、鳴声などを観察する。	◎						15
74	環境局	自然環境課	全国・自然歩道を歩こう大会	H17	環境省の主唱する「全国・自然歩道を歩こう月間」(毎年10月)に合わせて東海自然歩道で自然とふれあえるイベントを開催した。(10.21(日)開催 瀬戸市内・春日井市内 参加者63名)	継続実施	環境省の主唱する「全国・自然歩道を歩こう月間」(毎年10月)に合わせて、昭和57年から各市町村にも呼びかけ、東海自然歩道で自然とふれあえるイベントを開催する。	◎						15
75	環境局	自然環境課	あいち生態系ネットワーク協議会地区間交流会	H29	2月16日(土)実施 会場:刈谷市産業振興センター 参加人数:59名 各生態系ネットワーク協議会における位置づけや役割を共有するとともに、テーマ別にディスカッションやグループワークを行う。	せいかりレーと合同で開催	あいち生物多様性戦略2020に基づき設立された9つの生態系ネットワーク協議会の関係者等が一堂に会し、相互交流を通じて活動のさらなる活性化を目指す交流会を実施する。				○	○	◎	14 15 17
76	農林基盤局	林務課	「県有林野の利活用」事業の実施	H17	—	継続実施	地方公共団体やNPO等の団体に対し、県有林のうち一部を活動区域として設定し、森林・林業体験などの学習活動を通して、県有林野の利活用や森林整備の促進を図る。		○		◎			13 15
77	農林基盤局	林務課	県有林における「企業の森づくり」事業の実施	H18	—	継続実施	県内の約3,000ヘクタールの県有林を対象とし、企業が社会貢献活動として行う森林整備を県有林で受け入れる事業を実施する。		○		◎			13 15
78	建設局	水資源課	「全日本中学生水の作文コンクール」の実施	S54	応募総数184編	継続実施	「水の日・水の週間」の啓発活動の一環として、中学生を対象に水循環政策本部、国及び本県が実施しているコンクールで、県においても優秀作品を選出し、表彰する。	○	◎					4 6 14 15

9 事業体としての環境負荷低減に向けた、職員への環境学習等の実施・・・P32

・環境マネジメントシステムの導入や職員への環境学習の実施

6事業

番号	担当		事業	開始年度	H30事業実績	H31事業予定	H31事業内容	五つの力					関連するSDGs番号	
	局	課室						体感	理解	探究	活用	共働		
79	人事局 環境局	自治研修所 環境政策課(H30) 環境活動推進課	研修所研修	H17	新規採用職員研修(中期) 科目:愛知の環境 講師:環境政策課職員 研修日:6/13(水)、6/15(金) 受講者数:338名	研修日:6/11(火)、6/13(木) 受講者数:370名	新規採用職員研修においてあいちエコマネジメントに関する講義を行い、職員の環境保全に対する理解を深める。		◎		○			12 13
80	人事局 環境局	自治研修所 環境活動推進課	研修所研修	H30	課長級トップセミナー 科目:あいちエコマネジメント 講師:環境活動推進課職員 研修日:5/16(水) 受講者数:142名	研修日:5/10(金) 受講者数:173名	課長級職員を対象にあいちエコマネジメントに関する講義を行う。管理的職員が環境保全に対する意識向上を図る。		◎		○			12 13
81	環境局	環境政策課	環境局新任職員研修	H14以前	新規採用職員研修での説明:1回 環境部新任職員研修の実施:1回	新規採用職員研修での説明:1回 環境局新任職員研修の実施:1回	新規採用職員や新たに環境局へ配属された職員に対して、本県における環境行政の現状や取組に対する理解を深めるための研修を実施する。		◎		○			4
82	環境局	環境政策課	市町村職員等環境基礎研修	H14以前	市町村職員等環境基礎研修:2日間1回 環境保全業務基礎ハンドブック:400冊	市町村職員等環境基礎研修:2日間1回 環境保全業務基礎ハンドブック:400冊	市町村職員等に対して、環境全般の関係法令等についての研修を実施するとともに、各種公害等に対応した環境関係法令及び条例の規制内容等を整理した「環境保全業務基礎ハンドブック」を配布する。		◎		○			4
83	環境局	環境活動推進課	環境マネジメント普及促進セミナーの開催(環境マネジメント推進事業の一部)	H22	研修回数:4回 参加事業者数:15事業者	研修回数:4回 参加事業者数:20事業者(最大)	エコアクション21の認証取得を目指す事業者向けに取得のための具体的取組についてアドバイスするため、エコアクション21地域事務局による研修会を支援する。		○	○	◎			9 12
84	環境局	環境活動推進課	環境マネジメントシステム推進事業	H17	研修会開催回数:4回 研修受講者数:553名	研修会開催回数:4回 研修受講者数:約600名	本県独自の環境マネジメントシステムである「あいちエコマネジメント」に基づき職員研修等を実施し、本県の行う全ての事務事業における環境負荷低減のための取組を推進する。		○		◎			12 13

10 環境学習等を行う各主体への支援・・・P32

- ・教材やプログラムなどの提供・貸与、資材などの支援
- ・環境学習等の機会についての情報提供
- ・環境学習等を必要としている者と、提供できる者をつなぐ取組の実施
- ・優れた取組の発掘・発信
- ・行政情報の環境学習等への活用

6事業

番号	担当		事業	開始年度	H30事業実績	H31事業予定	H31事業内容	五つの力					関連するSDGs番号
	局	課室						体感	理解	探究	活用	共働	
85	環境局	環境活動推進課	中高年・シニア環境学習推進事業費	H30	【あいちecoティーチャー養成校】 養成人数:28名 オリジナル講座作成:5回 冬休み環境学習講座:5回(2日間) 世代間交流ミーティング:県内高校生達との交流	「環境学習講師『あいちecoティーチャー』を派遣します。」 講座回数:10回(予定)	中高年・シニア世代を環境学習の講師として活用し、環境学習施設等で講座を実施する。	○	○	○	○	◎	4 6 12 13 14 17
86	環境局	地球温暖化対策課	地球温暖化防止活動推進員の研修	H16	開催回数:1回	開催回数:3回	新規の推進員に対して、県の取組や施策、推進員の活動内容等の研修を行う。		◎	○	○		3 4 6 7 11 12 13 14 15
87	環境局	資源循環推進課	愛知環境賞	H18	【応募:43件、表彰:14件】	【応募:40件以上】	資源循環や環境負荷低減を目的とした、優れた事例に対する表彰を行い、広く紹介することで、循環型社会の形成を推進する。			○	◎	○	4 7 9 11 12 13
88	環境局	資源循環推進課	あいち環境塾	H20	【塾生20名、全員修了】	【塾生20名】	企業や大学、行政など幅広い分野から塾生を集め、環境や資源循環などの分野で活躍する第一線の有識者、指導者から講義を受けるとともに、塾生どうしの討論などを実施する。 また、あいち環境塾の通常講座に必要な基礎的な能力を身に付けさせるために、基本的な講座等を行う。			○	○	◎	4 7 9 11 12 13
89	保健医療局	健康対策課	食生活改善推進員の再教育	H17	研修会の開催(実施回数5回 受講者数150名)	回数 5回	住民参加型の地域ボランティアである食生活改善推進員の活動を支援するための研修会を開催する。			○		◎	3 4
90	農業水産局	食育消費流通課	食育推進ボランティアの登録・活動支援	H17	・ボランティア研修交流会開催:7か所	・ボランティア研修交流会開催:7か所	食生活の改善、料理教室や農業・漁業体験など食育に関する様々な推進活動を行うボランティアの登録や活動支援を行う。					◎	14 15

11 県内全域を対象とした環境学習等の推進のための環境づくり・・・P33

- ・県内全域を対象とした環境学習等に関する計画等の策定及び推進
- ・県内環境学習施設等の連携の充実
- ・コーディネート機能の充実など、連携・協働を促進するための環境づくり

11事業

番号	担当		事業	開始年度	H30事業実績	H31事業予定	H31事業内容	五つの力					関連するSDGs番号
	局	課室						体感	理解	探究	活用	共働	
91	環境局	環境活動推進課	愛知県環境教育等推進協議会の開催	H24	協議会開催数:2回	開催数:2回(予定)	環境学習等行動計画2030に基づき、環境学習等をより効果的に進めるための取組を進める。	○	○	○	○	◎	4 6 7 11 12 13 14 15 17
92	環境局	環境活動推進課	環境学習等行動計画2030の普及・定着	H30	愛知県環境学習等行動計画2030 実践事例集「学びを行動につなぐサポートBOOK」の作成	セミナー開催 :1回	事業者団体との連携・協働により、家庭での行動を促す方を事業者が学び合えるよう、環境学習等行動計画2030及び事例集を活用して、「学びを行動につなげる」ためのセミナーを実施する。	○	○	○	◎		4 6 7 11 12 13 14 15 17
93	環境局	環境活動推進課	環境学習コーディネーターの設置	H25	年度受託件数 相談:13件 コーディネート:21件	年度委託件数 相談:5件以上 コーディネート:20件以上	事業者、NPO、行政、学校等が連携・協働して環境学習に取り組めるよう、各主体の調整や相談等の業務を行うコーディネーターをあいち環境学習プラザに設置するとともに、専門的な相談やコーディネートに対応できるようコーディネーターを外部委託する。				○	◎	4 6 7 11 12 13 14 15 17
94	環境局	環境活動推進課	「環境教育 協働授業づくりハンドブック」の作成・活用	H28	「子どもの目が輝く授業のつくり方」 研修回数:2回(名古屋会場、東三河会場) 参加者数:55名	「子どもの目が輝く授業のつくり方」 研修回数:2回(名古屋会場、東三河会場) 参加者数:44名	「環境教育 協働授業づくりハンドブック」を活用し、連携・協働を促進するための研修を実施する。また、学校が連携・協働による授業を行いやすいよう、Webページ「環境教育 あいち協働授業づくり」を充実させる。				○	◎	4
95	環境局	環境活動推進課	環境月間行事の開催	S48	日にち:6月5日(火) 場所:県庁本庁舎(正庁) 対象者:2団体、30名	日にち:6月7日(金) 場所:県庁本庁舎(正庁) 3団体 23名	県内の環境の保全に関し顕著な功績のあった個人・団体について、その功績をたたえるため、知事による表彰を行う。				○	◎	6 7 13 14 15
96	環境局	環境活動推進課	愛知県環境学習施設等連絡協議会	H18	構成員施設等:184施設等、37市町村 協議会開催回数:2回	協議会開催回数:2回	企業、NPO、行政等の環境学習施設に対して情報交流の場を設け、参加者相互のネットワークづくりを促進するため、平成19年度に愛知県環境学習施設等連絡協議会を設置し、県内の環境学習施設間の情報の共有等連携を強化する。					◎	4 6 7 11 12 13 14 15 17
97	環境局	環境活動推進課	あいち森と緑づくり環境活動・学習推進事業	H21	交付対象事業件数:107件	交付対象事業件数:107件	あいち森と緑づくり税を財源に、NPO等が実施する森と緑の保全活動や、森と緑を社会全体で支える機運を醸成する環境学習を支援し、その取組の一層の進展を図るとともに、団体等に対し活動に必要な情報やノウハウを身につけるための講習会を実施する。また、生態系ネットワークを形成するため、ビオトープの創出や維持、向上に資する事業を支援する。	○	○	○	◎	○	13 14 15 17
98	環境局	地球温暖化対策課	あいち地球温暖化対策人材登録・紹介ネット(温暖化まなびネット)への登録及びスキルアップセミナーの開催	H30	登録数:30件 (個人26件団体4件)	継続実施	県民、学校、地域団体、市町村等の自主的な地球温暖化対策活動を支援するため、地球温暖化対策について知見をもった人材及び、地球温暖化対策についての環境学習を提供する事業者等を発掘し、「温暖化まなびネット」に登録して公開する。 また、温暖化まなびネットに登録した人材に対しセミナーを行い、講義や啓発のスキルを向上させることで、各主体が行う環境学習での学習効果の向上を図る。				○	◎	3 4 6 7 11 12 13 14 15
99 新規	環境局	自然環境課	未来へつなぐ「国連生物多様性の10年」せいかりキックオフイベント	H31		令和2年11月11日～12日 名古屋国際会議場 主催:UNDB-J、環境省、愛知県、名古屋市	「国連生物多様性の10年」の最終年を締めくくるイベントを関係機関と協力して開催し、COP10以降、本県において多様な主体が愛知目標の達成に向けて取り組んできた成果を広く発信し、地域全体の気運の盛り上げを図る。	○	◎			○	4 11 12 14 15 17

番号	担当		事業	開始年度	H30事業実績	H31事業予定	H31事業内容	五つの力					関連するSDGs番号
	局	課室						体感	理解	探究	活用	共働	
100	農林基盤局	農地計画課	農業農村整備事業の必要性・効果のPR活動	H14	各農林水産事務所での啓発活動 件数:45件 参加者数:約5万3千人	各農林水産事務所での啓発活動 件数:28件 参加者数:約3万1千人	農業農村整備事業の必要性や効果(多面的機能など)を広く県民にPRするため、小学生を対象とした水田や水路を遊びと学びの場として活用する環境教育や排水機場の見学会等を実施する他、羽布ダムの周辺を散策するウォークラリー等のイベントを開催し、パンフレットや啓発グッズの配布、パネルの展示等を実施する。	○	◎				15
101	農林基盤局	農地計画課	農業農村多面的機能支払事業(推進事業費)	H20	開催日:11月17日(土) 参加者数:約500人	開催日:11月16日(土) 参加者数:約500人	愛知県における、地域共同による農用地、水路、農道等の地域資源の保全管理と質的向上を図る取り組みの一層の普及を図り、県民の理解を促進するとともに、活動組織の意識向上を図るため、他の模範となる優れた活動に取り組む活動組織を表彰する。「農地・水・環境のつどい」		○			◎	15





12 環境、環境学習等に関する情報の収集・提供・・・P34

・環境、環境学習、各主体の活動等に関する情報の収集・提供

10事業

番号	担当		事業	開始年度	H30事業実績	H31事業予定	H31事業内容	五つの力					関連するSDGs番号
	局	課室						体感	理解	探究	活用	共働	
102	環境局	環境政策課	環境白書・愛知の環境のあらましの作成	S46	環境白書の作成:1,000部 愛知の環境のあらましの作成:1,500部	環境白書の作成:1,000部 愛知の環境のあらましの作成:1,500部	愛知県の環境の状況及び環境保全施策をまとめた「環境白書」とその概要版である「愛知の環境のあらまし」を作成、配布するとともに、ウェブサイトでも公表し、県民に周知する。		◎	○			4
103	環境局	環境政策課	環境分野における企業の社会貢献活動ウェブサイト	H22	—	継続実施	県内企業が実際に取り組んでいる環境分野の社会貢献活動の実例を幅広く紹介する。				◎	○	9 12
104	環境局	環境活動推進課 資源循環推進課	庁舎周辺の清掃活動	H17	清掃活動回数:2回(5月、10月)	清掃活動回数:2回	定期的に職員ボランティアによる県庁周辺の清掃活動を実施する。	○	○			◎	12 17
105	環境局	自然環境課	レッドデータブックあいち2009等による情報提供	H21	レッドデータブックあいち2009(第2次レッドデータブックあいち)及びレッドリストあいち2015を冊子やインターネットで情報提供を行った。	継続実施	レッドデータブックあいち2009(第2次レッドデータブックあいち)及びレッドリストあいち2015を冊子やインターネットで情報提供を行う。		◎	○			15
106	環境局	自然環境課	移入種対策ハンドブックによる情報提供	H23	県内で確認されている移入種の分布域を掲載したリスト及び、代表的な移入種について種の概要、生態系に及ぼす影響、対策事例などをまとめた移入種対策に資する冊子を配布すると共に、インターネットで情報提供を行った。	継続実施	県内で確認されている移入種の分布域を掲載したリスト及び、代表的な移入種について種の概要、生態系に及ぼす影響、対策事例などをまとめた移入種対策に資する冊子を配布すると共に、インターネットで情報提供を行う。		◎	○			15
107	経済産業局	産業科学技術課	新エネルギー関連産業育成事業(新エネルギー社会実証推進事業)	H22	セミナー等5回 のべ445名参加	セミナー1回	新エネルギー関連分野における技術課題等の解決および事業化の可能性を探る研究会活動の推進やセミナー等を行う。				○	◎	7 9 11
108	経済産業局	産業科学技術課	次世代自動車インフラ整備推進事業(FCV・水素エネルギー普及促進事業)	H26	専門講座4回 のべ235名参加	専門講座4回	将来の本県の産業技術を支える若手を育成するため、県内の工業高校生を対象に、燃料電池自動車(FCV)や燃料電池技術に関する専門講座を行う。	○	◎			○	7 9 11
109	農業水産局	農業振興課	交流ネットワーク推進事業	H17	都市農村交流ガイド等による情報提供 Webサイト閲覧数 442,073	都市農村交流ガイド等による情報提供	あいちの都市・農村交流ガイドにより、地域資源及び地域資源を巡るモデルルートなど、自然とのふれあい等を促進できる情報を提供する。	◎	○				11
110	都市整備局	公園緑地課	県民参加緑づくりの支援【あいち森と緑づくり事業】	H21	以下の県民参加事業に対し支援を行った。 市町村が実施する公有地における樹林地整備や植栽等の緑づくり活動事業や体験学習事業 市民団体が実施する上記の事業 緑の活動にかかる市民団体等育成のために市町村が実施する市民団体等への講師派遣事業	継続実施	以下の県民参加事業に対し支援を行う。 市町村が実施する公有地における樹林地整備や植栽等の緑づくり活動事業や体験学習事業 市民団体が実施する上記の事業 緑の活動にかかる市民団体等育成のために市町村が実施する市民団体等への講師派遣事業	◎	○				11 15
111	教育委員会事務局	生涯学習課	生涯学習情報システム「学びネットあいち」の運営	H14	生涯学習情報システム「学びネットあいち」により、自然科学・地球環境など環境学習情報を提供した。 また、生涯学習支援ボランティア登録された自然科学・環境分野の人材を「学びネットあいち」において情報提供した。	継続実施	生涯学習情報システム「学びネットあいち」により、自然科学・地球環境など環境学習情報を提供する。 また、生涯学習支援ボランティア登録された自然科学・環境分野の人材を「学びネットあいち」において情報提供する。		◎	○			4

持続可能な開発目標【SDGs】		事業数
	すべての人に健康と福祉を / GOOD HEALTH AND WELL-BEING	11
	質の高い教育をみんなに / QUALITY EDUCATION	48
	安全な水とトイレを世界中に / CLEAN WATER AND SANITATION	32
	エネルギーをみんなにそしてクリーンに / AFFORDABLE AND CLEAN ENERGY	29
	産業と技術革新の基盤をつくろう / INDUSTRY, INNOVATION AND INFRASTRUCTURE	15

	人や国の不平等をなくそう / REDUCED INEQUALITIES	1
	住み続けられるまちづくりを / SUSTAINABLE CITIES AND COMMUNITIES	38
	つくる責任 つかう責任 / RESPONSIBLE PRODUCTION AND CONSUMPTION	35
	気候変動に具体的な対策を / CLIMATE ACTION	39
	海の豊かさを守ろう / LIFE BELOW WATER	53

	陸の豊かさを守ろう / LIFE ON LAND	66
	平和と公正をすべての人に / PEACE, JUSTICE AND STRONG INSTITUTIONS	1
	パートナーシップで目標を達成しよう / PARTNERSHIPS FOR THE GOALS	29
		397

行動計画 2030 実践事例集の活用について

○ 実施結果

【名古屋会場】 開催日時：7月31日(水) 午前10時～午後4時
開催場所：あいち環境学習プラザセミナー室
参加者：教員、NPO、行政職員等 22名

【東三河会場】 開催日時：8月19日(月) 午前10時～午後4時
開催場所：東三河総局大会議室
参加者：教員、NPO、行政職員等 22名

○ 実施内容

・講義「これからの教育に求められること」及び実践事例集を活用した演習

【講演者】名古屋会場：名城大学教職センター教授 井中宏史 氏

東三河会場：東三河教育事務所新城設楽支所長 山本武志 氏

《名古屋会場》



講義中のアクティブラーニング



グループでの協働授業プログラム作成



作成した協働授業プログラムの発表



作成した協働授業プログラム

《東三河会場》



講義中のアクティブラーニング



実践事例集についての講義



グループでの協働授業プログラム作成



作成した協働授業プログラムの発表

・協働授業づくり事例講習

【講演者】豊田市立根川小学校教諭 宇野 恵 氏

「子ども・学校・外部講師 みんなが幸せになる授業づくり」

公益社団法人 NACS 消費生活研究所主任研究員・環境カウンセラー

浅野 智恵美 氏

「受講者のニーズに合わせたプログラム改良」



宇野恵氏の講演



浅野智恵美氏の講演

市及び企業等と連携したエコアクション推進イベントの実施について

1 イベント名

Let's エコアクション in AICHI

2 目的

県民の環境意識をエコアクションの実践へとつなげていくため、県・市・企業等が連携して、エコアクションを楽しみながら学ぶことができ、地元根付く県民参加型の環境イベントを開催する。

3 実施主体

愛知県、刈谷市（共催）

4 日時

2019年11月23日（土・祝）、24日（日） 午前10時から午後4時まで

5 会場

[メイン会場]

みなくる広場（刈谷市若松町2丁目100）

刈谷市総合文化センターアイリス（刈谷市若松町2丁目104）

[サテライト会場]

トヨタ車体(株)刈谷ふれ愛パーク（刈谷市一里山町金山100）

夢と学びの科学体験館（刈谷市神田町1丁目39番地3）

<参考：昨年度の様子（11月17日（土）・18日（日）アスナル金山、来場者数15,010人）>

